

7/24 自然の中で大きくなーれ

阿蘇中央幼稚園の園児が花原川にヤマメの放流



ヤマメの稚魚を放流する園児たち

河川環境資源を保護するため、西湯浦のかばるん公園で阿蘇中央幼稚園の園児35人がヤマメの稚魚を花原川に放流しました。

園児たちの思い出作りと、阿蘇の自然に親しみをもち、将来地元企業で働いてもらいたいという思いから、市商工会と市建設業協会が初めて企画した取り組みで、約10センチのヤマメの稚魚を2千匹用意。園児たちはバケツから飛び出そうとする稚魚に悪戦苦闘しながら、公園内の川岸に並んで一斉にヤマメを放ちました。

7/3 観光振興に豊肥本線活用

阿蘇市・竹田市・JRが三者連携で観光振興



左から首藤竹田市長、佐藤市長、JR九州上符営業部長

2020年度のJR豊肥本線後大津駅～阿蘇駅間の復旧を見据え、外国人観光客の受け入れ態勢を強化するため、阿蘇市・竹田市・JR九州の3者で「JR豊肥本線を活用した観光振興の協定を締結しました。」

この協定では、県境を越える両市が統一したブランドイメージを創り上げ、新たな滞在プログラムの開発や公共交通ネットワークの構築、地域通訳案内士の育成などが取り組まれます。また、JR九州と協力しながら海外での認知度を向上させるプロモーション活動も行われます。

7/26 園児に生演奏の音楽を

りんどう保育園で園内コンサート



「パプリカ」の演奏に合わせて歌って踊る子どもたち

乳幼児期から生の音楽を園児に触れさせるため、りんどう保育園で園内アマビレコンサートが開かれました。

りんどう保育園を卒業したピアノ演奏者 村上喜久子さんから3人が平成10年から毎年開いているコンサートで、園児のほか地域住民や地元の小学生など約150人が来場し、普段聞かれないバイオリンなどの演奏に聴き入りました。コンサート中盤で小学生ユニット「フリーリン」の「パプリカ」の演奏が始まると、子どもたちも一緒に歌って歌やダンスを楽しみました。

7/25 地域活性化に弾み

阿蘇のエコツーリズム構想を国が認定



原田義昭環境大臣から認定書を受け取った佐藤市長

阿蘇地域の自然環境を保全・活用し、地域固有の魅力を伝えるために策定したエコツーリズム推進法に基づく全体構想が認定され、環境省で原田義昭環境大臣から佐藤市長へ認定書が授与されました。

この構想は平成27年度から阿蘇ジオパーク推進協議会で調整が進められてきたもので、全国で16番目の認定となりました。

今回の認定によって、地域のブランド力が高まる効果や、国が積極的に周知活動を行うことで阿蘇地域への集客力の向上につながる事が期待されます。



8/2 沖縄の子どもと文化交流

「沖縄県青少年フレンドシップイン九州」交歓会



沖縄の子どもたちとゲームなどで交流を深めた

7月31日～8月4日に沖縄の小中高生180人が阿蘇を訪れる「青少年フレンドシップイン九州」の交流事業が実施され、8月2日に一の宮小学校で交流会が開かれました。
迎え入れた一の宮小学校の児童生徒は、阿蘇の習慣や学校での生活を発表。沖縄の子どもたちは伝統芸能「エイサー」を披露し、互いの文化を交歓しました。班ごとに分かれての名刺交換やゲームで交流を行うと、最初はよそよそしかった子どもたちも次第に打ち解け合い、笑顔で会話を楽しみました。

7/26,28 古式ゆかしく豊作祈願

国造神社と阿蘇神社で御田祭



神幸行列の周りには大勢のカメラマンが待ち構える

国指定重要無形民俗文化財である阿蘇の農耕祭事の一つ、「御田植神幸式（御田祭）」が7月26日に国造神社で、28日には阿蘇神社で行われました。
それぞれの神社で神事が行われた後、神職や早乙女を乗せた馬、白装束で神様の食事を運ぶ宇奈利、神様が乗る神輿を担ぐ駕輿丁、田植え人形を持った小学生などの神幸行列が集落や青々しい田園の中を練り歩き、五穀豊穡を祈願しました。
神幸行列の近くでは、観光客やカメラマンなど多くの人達で賑わいました。

8/3-4 ゴルファーが復興応援

熊本・阿蘇シニアオープン開催で市に支援金



小杉周司大会副会長から支援金目録を受け取った佐藤市長

ゴルフの国内シニアツアー、第3回熊本・阿蘇シニアオープンゴルフトーナメントが8月3日・4日にコスギリゾート阿蘇ハイランドゴルフコースで開かれました。
大会では、プロ59人、アマチュア56人が参戦。優勝はグレゴリー・マイヤー選手（アメリカ）、ベストアマチュアを土谷雅博選手（大分）が受賞しました。
大会前日はチャリティオークションが行われ、収益金や本大会の参加費の一部が熊本地震復興の支援金として熊本県と阿蘇市に寄付されます。

8/3 阿蘇の自然を学ぼう

県内外の小学生 120人がジオツアーに参加



火山灰が降る中マスクを着用して杵島岳の麓を散策した

阿蘇の自然の素晴らしさを学ぶ体験イベント「夏のジオサイトと阿蘇火山博物館」が草千里一帯で開催され、県内外の家族ら約120人が参加しました。
阿蘇の自然環境を維持する「ASO環境共生基金」の体験事業として毎年開催している自然学習会で、参加者は草千里や杵島岳を散策し火山活動や自生する生き物についてガイドから説明を受けました。下山後は火山博物館で、阿蘇山で起きた噴火の話やカルデラを作る実験、ジオラマなどを使って阿蘇火山の誕生について学びました。

8/5 波野に新しい支所完成



テープカットには地元区長会長と波野小中学生も参加

昨年9月末に着工した波野支所の新庁舎が完成し、関係者70人が出席して開所式が行われました。

新しい波野支所の庁舎は、木のぬくもりを感じられるよう県産材を使用した木造平屋建て。車椅子にも優しい屋根付きの障がい者用駐車場や段差のないフロア、多目的トイレには手すりが付けられオストメイト（人工肛門・人工膀胱保持者）にも対応しています。隣接する保健福祉センターとの間には連絡通路が整備され、施設を一体的に利用できます。

波野支所新庁舎で開所式



木の香りに包まれた波野支所の窓口風景



波野支所の外観。屋根は阿蘇の野山をイメージ

8/7 三野地区が便利に

県道内牧坂梨線（三野工区）の2キロが開通



古城保育園の園児も参加し古城郵便局前でテープカット

県道内牧坂梨線三野工区の開通を祝い、古城体育館で開通式が行われ、地元区長や工事関係者など約70人が参加しました。

今回完成した道路は、古城郵便局から東側2キロの区間で、生活道路として利便性が向上することに加え、災害時の避難路や緊急車両の円滑な通行を想定して車道2車線と歩道が確保されています。

県道内牧坂梨線の工事は、国造神社と坂梨の国道57号交差点まで約8キロにわたり計画され、今後手野工区と北坂梨工区の工事が進められます。

8/4 田畑と牛馬を見守る扇

狩尾地区で伝統の扇切り



急斜面で草を刈って扇の形を描いていく

狩尾地区の扇保存会（鎌倉昭幸会長）の18人が北外輪山の斜面で草を刈り取って描く「扇」を製作しました。

100年以上続く狩尾の扇切りは、牛馬の安全祈願と田畑の害虫を扇いで追い払う意味が込められており、戦時中に一度途絶えたものの、地域の有志らによって40年ほど前から再開し継承されています。

早朝から集まった保存会は、原野の草を刈り込み、標高750メートルの緑美しい山肌に横幅70センチの日の丸模様の扇を見事に完成させました。



8/15 戦争の記憶を次世代に

西町区で平和祈願と戦没者慰霊祭



慰霊祭に参列した区民の皆さん

西町区（山本弘春区長）で平和祈願と戦没者慰霊の神事が行われ26人の区民が参列しました。

西町区では、第2次世界大戦で区内の19名が戦死され、昭和57年には平和の記念碑を建立。以来37年にわたり毎年8月15日に犠牲となった先祖を悼み、繰り返してはならない戦争の記憶を次世代に引き継ぐよう戦没者慰霊祭が続けられています。

山本区長は「今の日常は戦争で亡くなった人たちの犠牲の上に成り立っている。この行事を未来永劫続けていきたい」と恒久平和を祈願しました。

8/9 不要なモノで工作体験

波野小で婦人会によるエコスクール開催



完成したオブジェを教頭先生に手渡した児童たち

阿蘇市婦人会が主催する「エコスクール・イン・ASO」が波野小学校で開かれ、児童と地元老人会の16人が参加しました。

エコスクールでは、生活でいらなくなるものを使ったりサイクル工作や防災学習、高齢者との交流が行われています。児童たちは、グラフィックデザイナー井佳子さん（東3区）の指導で、トレットペーパーの芯でコースターやオブジェを作成しました。

この事業は、青少年教育振興機構の助成金を活用しており、阿蘇小と阿蘇西小でも同様の取り組みが行われました。

全国大会等出場者と結果

●テコンドー 🏆 (7.27-28 / 長野県松本市)

JOC オリンピックカップ
第12回全日本ジュニアテコンドー選手権大会

型の部

【有段中学男子の部 2位】佐藤 太一（一の宮中 3年）

組手の部

【小学6年男子 +42kg級 2位】内村 朔（一の宮小 6年）

【小学4年女子 -33kg級 2位】渡邊 愛来（内牧小 4年）

●水泳 (8.17-19 / 京都市)

第59回全国中学校水泳競技大会

50m自由形 山部 龍聖（一の宮中 3年）

●軟式野球 (8.23-29 / 京都府宇治市)

第4回全日本中学女子軟式野球大会

山城 花怜（一の宮中 3年）

●馬術 (9.12-15 / 静岡県掛川市)

第71回全日本障害馬術大会 2019 パートII

中障害飛越競技

園田 桃子（阿蘇中央高校 3年 / 一の宮中出身）

●水泳 (9.14-16 / 茨城県ひたちなか市)

第74回国民体育大会水泳競技大会

50m自由形 山部 龍聖（一の宮中 3年）

●馬術 (9.29-10.3 / 茨城県那珂市)

第74回国民体育大会馬術競技

少年二段階障害飛越競技・少年リレー 競技・

少年トップスコア競技

池田 千尋（阿蘇中央高校 3年 / 阿蘇中出身）

（敬称略）

広報あそ 8月号 6ページに記載してある「幸雲堂吟詠会」の表記に誤りがありました。正しくは「香雲堂吟詠会」です。訂正してお詫び申し上げます。

8/19 霜被害から守る火焚き

霜神社で「火焚き神事」始まる

火焚殿で火を灯す
夕綺さんと介添えのイセミさん



国指定重要無形民俗文化財阿蘇の農耕祭事の一つ「火焚き神事」が始まり、霜神社で乙女入神事が行われました。

農作物を霜の被害から守り豊作を祈るこの祭事は、建磐龍命の由来「鬼八」の恨みを鎮めるために始められたと伝えられ、乙女揚げの10月16日まで火焚殿に祀られたご神体を温め続けます。

第2579代目と言われている今年の火焚き乙女は山口夕綺さん(阿蘇小4年)が務め、介添えの祖母イセミさん(上役大原)とともに、火焚殿で火を灯し、59日間の火焚きが始まりました。

8/16 晃さんの生きた証しに

捜索に関わった人たちへ感謝の日本酒



感謝を込めて
造られた
日本酒「若木」

佐藤市長に日本酒を届けた卓也(右)さん

熊本地震で犠牲となった大和晃さんのご両親 大和卓也さん・忍さん夫妻(今町)が、晃さんの捜索に関わった人たちに感謝を込めて日本酒を届けました。

「若木」と名付けられた日本酒は、地震直前に晃さんが農作業をしてできた米を使い、ラベルには中学時代に書道の全国大会で金賞を受賞した晃さん直筆の文字が印字されています。

卓也さんは「多くの方々とお会い、支えられ、励まされたことが発見につながった。お世話になった全ての方々に届けたい」と感謝を述べました。

8/21 いっぱい採れたよ!

園児たちがブルーベリー収穫体験



おいしそうにブルーベリーをほおぼる園児

阿蘇内牧ファミリパークあそ☆ビバに植えられたブルーベリーが実り、阿蘇中央幼稚園の園児43人が完熟した実を収穫しました。

子どもたちに喜んでもらうと、同施設を管理するASOワークネットが毎年地元園児を招待している収穫体験で、園児たちは暑さも忘れ、夢中でブルーベリーの実を摘み取りました。

収穫されたブルーベリーは、お土産として園児に渡されたほか、市内の介護老人福祉施設にも届けられる予定です。

8/19 旅の子どもをサポート

阿蘇ロータリークラブが九州横断徒歩の旅を応援



今町神社で子どもを出迎えるロータリークラブのメンバー

熊本にゆかりのある小中学生が大分県野津原から熊本城までを7日間で歩く『第42回参勤交代・九州横断徒歩の旅』の道中に、阿蘇ロータリークラブ(市原正史会長)が今町神社で子どもたちを迎え入れ、かき氷やあめ玉などを振舞いました。

旅には、サポートの高校・大学生を含め252人が参加。この日、波野から内牧に向かう子どもたちは、同クラブが設営した休憩所で疲れを癒すと元気いっぱい旅立ちました。同クラブは、約20年前からこの旅の子どもたちをサポートしています。